

五十猛 まちセン便り

第 20 号 2022 年 12 月 14 日

発行責任者 五十猛まちづくりセンター長 長尾英明

五十猛町の人口 世帯数
(前年同月差)

人口数 1,202 人 (▼24 人)

男 620 人 (▼10 人)

女 582 人 (▼14 人)

世帯数 545 世帯(±0 世帯)

2022 年 12 月 1 日現在



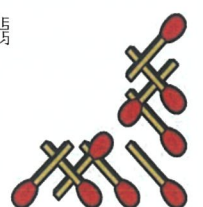
ICT 施工コンクリート舗装機による
舗装の様子

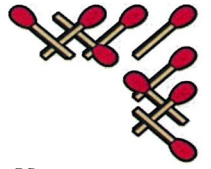
静間仁摩道路工事現場見学会
11 月 13 日 (日) に国土交通省松江工事事務所と大成ロテック株のご協力により開催し、子ども 7 名を含む 32 名が参加しました。初めに五十猛トンネルの中で映像を使い ICT 施工によるコンクリート舗装の説明の後、機械を動かしてのシュミレーションを見学しました。参加者は食い入るように見て質問もたくさん出しました。

その後、長さ 120 m の逢浜川橋まで移動し説明を受けながら高さ 30 m からの眺めを堪能しました。その頃には、雨も風も弱くなり、予定していたドローンによる記念撮影も無事できました。バスの中でもたくさんの質問がされ、参加者からは貴重な体験をしたと好評でした。来年度が最後になるので見学会を計画したいと思います。



「逢浜川橋 (地頭所嘉庭) 付近で記念撮影





花いっぱい大作戦

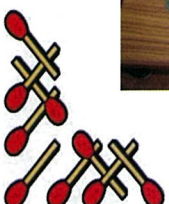
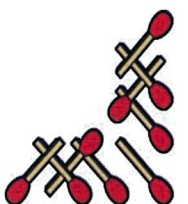
10月12日(水)畑井のコスモス畑で五十猛小学校の一年生7名と住民の方が協力して、押し花を作るための花摘みをしました。今年はずんが児童より少し低いぐらいで花摘みには最適でした。花びらも大きくたくさんの花を採っていました。

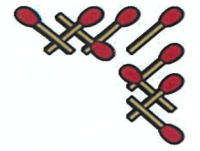


講師の先生の指導のもと児童は苦勞しながら摘んできた花を押し花にしました。作品は11月19日(土)の五十猛町文化祭に展示されました。

フラワーアレンジメント

11月3日(木)フラワーアレンジメントサークルの皆さんが生花でリース作りをしました。これまでの中で一番難しいという声もありましたが、作業が進むにつれだんだん慣れてきて、無我夢中で作っていました。子どもの希望で初めて参加した親子も力を合わせて作品を作っていました。作品は11月19日(土)の五十猛町文化祭に展示されました。

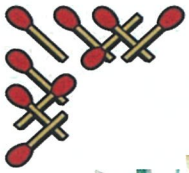




3年ぶり文化祭開催

11月19日(土) 五十猛小学校で作品展、20日(日)は午前が児童の丸太切り競争、午後は大屋神楽社中による神楽が上演されました。

作品展は趣味や教室で作られた作品で素晴らしいものばかりでした。丸太切り競争は12名の参加で、途中親子対決などもあり大変盛り上がりました。神楽は5演目で3時間の上演で大好評のうちに終わりました。



丸太切り競争親子対決

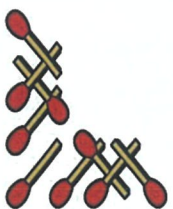


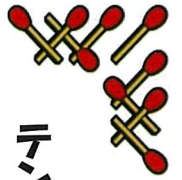
「高齢者通いの場」の消火訓練の様子
(10月26日)
(五十猛まちづくりセンターで)

出版案内

このほど五十猛町の地誌や歴史をつづつた書籍『なつかしの国石見のいにしえ物語―五十猛、そして大屋、長久―』を出版しました。これは地区社協とまちセンの広報誌に『おさらい五十猛物語』という表題で連載していた記事を一冊にまとめたものです。
(長尾英明)

今年もお世話になりました。
来年もよろしくお願ひします。





テント村開催

9月30日(金)午前10時より和田珍味(株)本店駐車場で「テント村」が開催されました。これは五十猛地区社協や大田警察署などが中心となって開催されました。大田警察署より五十猛小学校1年生2名が1日署長に任命されました。



その後、児童と住民の方が「安全運転をして下さい」とドライバー120人一人一人に声掛けをして記念品を渡しました。大変良い交通安全の啓発活動ができました。

青少年健全育成大会

10月23日(日)に五十猛小学校体育館において61回目になる大会が行われました。

今年は五十猛小学校の保健体育委員会が「規則正しい生活について教えてくれる」をストーリーに発表しました。島根県立大学の髙橋恵美子教授より「脳の働き、役割」についてわかりやすく講演していただきました。また、島根県警察音楽隊の演奏を聴くことができ、児童をはじめ参加の皆さんは大感激でした。

